

こだわりのリノベーション『バタフライ工法』は新たな付加価値を提案してお客様の満足を創りあげます。

※直下型地震による(X状亀裂)柱などの部材に斜めやX状のひび割れ、亀裂がみられドアが開かなくなる場合があります。事前対策としてKINDEXのバタフライ工法をご提案します。

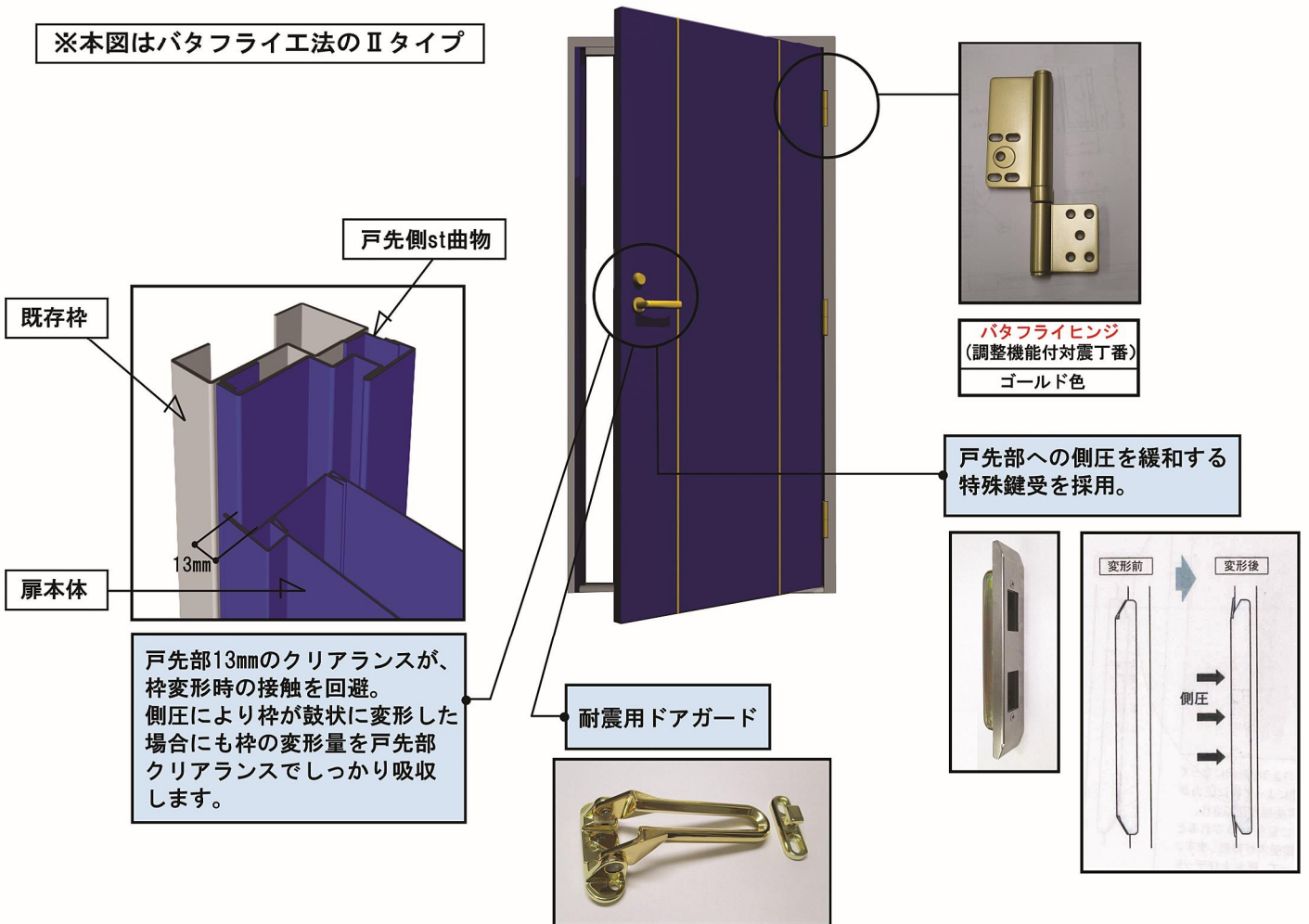
既存ドアの既存枠利用【KINDEXのバタフライ工法】

扉本体・戸先側曲げ物・バタフライヒンジ【対震丁番】・ドアガード・対震ストライク

■開口寸法減

W	-25mm
H	±0mm

※本図はバタフライ工法のⅡタイプ



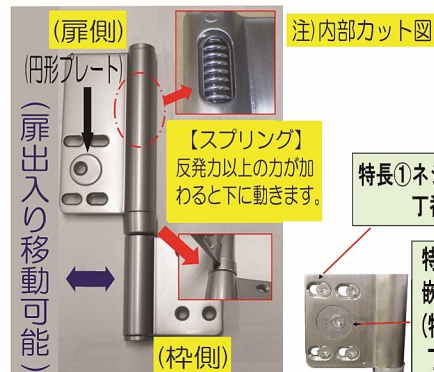
『バタフライヒンジの機能性』

もしも地震が起こった時・・・玄関ドアやホテルドアが開かなかったら・・・KINDEXの耐震丁番はスプリングの柔軟性で地震に対応します。地震後は調整機能付で発生前後の枠の著しい変形以外で開閉可能であればミリ単位の微調整が可能です。

(約100kgの力が掛かる)



(ドア枠の変形⇒開閉可)



(調整機能付対震丁番)

バタフライヒンジ
意匠登録済
特許出願済
開閉試験合格(20万回)

特長①ネジ穴を楕円形にすることで丁番の移動が可能となります。

特長②円形プレートを嵌め込むことで、歯止め効果(特許申請)によりミリ単位で丁番が固定されます。

※バタフライヒンジは20万回の連続開閉をクリアした特許丁番(出願済)を使用するのでネジは緩みにくくなっています。